

令和5年度

【令和4年度事業】

大和高田市の教育に関する
事務の管理及び執行の点検評価報告書

令和5年9月

大和高田市教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、令和5年度（令和4年度事業）大和高田市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価の結果を報告いたします。

令和5年9月1日

大和高田市教育委員会
教育長 梶木 義敏

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律[抜粋]

(平成20年4月1日施行)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

1	教育委員会の活動状況	
	(1) 教育委員会会議の開催状況	1
	(2) 教育委員会会議以外の活動状況	3
2	教育予算の執行に関する状況	5
3	主要な事業の点検・評価	
	(1) 1次評価の概要	5
	(2) 2次評価の概要	6
4	有識者の意見	
	◎有識者の意見の聴取及び概要	7
5	総括	9
6	【別表1】大和高田市まちづくりの指針の体系	10
7	【別表2】事業の評価一覧	11
8	事業の概要と点検・評価	13

点検評価の概要

大和高田市教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第1項の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検・評価を実施しております。

令和4年度についても、教育委員会の活動の状況、教育予算の執行に関する状況、主要な事業の執行に関する状況について、点検・評価を実施し、外部有識者にご意見をいただき報告書にまとめました。

1 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会は、毎月1回の定例委員会と必要の都度臨時委員会を開催し、教育長及び4名の教育委員により、教育行政に関する諸施策について審議を行った。定例、臨時委員会における付議案件の件数及び内容については、次のとおりである。

開催日	定例／臨時	案 件
4月14日 (木)	定 例	<ul style="list-style-type: none">・大和高田市立学校給食調理業務委託プロポーザル選定委員会設置要綱（案）について・令和4年度大和高田スカウト運動育成協会感謝状授与について・大和高田市指定文化財の新規指定について・大和高田市立高田商業高等学校生徒派遣費補助金交付要綱の一部を改正する告示及び大和高田市立高田商業高等学校授業料等減免等規則の一部を改正する規則について 他、後援願2件、報告事項2件、本市における教育課題について
5月16日 (月)	定 例	<ul style="list-style-type: none">・令和4年度大和高田市青少年補導会感謝状授与について 他、後援願4件、報告事項5件、本市における教育課題について
6月27日 (月)	定 例	<ul style="list-style-type: none">・令和4年度大和高田市教育環境あり方検討業務委託事業者選定プロポーザル審査委員会設置要綱（新規制定）について・大和高田市適応指導教室設置規則の一部を改正する

		規則の制定について 他、後援願 5 件、報告事項 3 件、本市における教育課題について
7 月 15 日 (金)	定 例	・後援願 3 件、報告事項 1 件、本市における教育課題について
8 月 29 日 (月)	定 例	・教育に関する事務の管理及び執行の点検評価について 他、後援願 2 件、報告事項 2 件、本市における教育課題について
9 月 26 日 (月)	定 例	・令和 4 年度教育委員会表彰について 他、後援願 2 件、報告事項 2 件、本市における教育課題について
10 月 27 日 (木)	定 例	・令和 4 年度教育委員会表彰について（変更分） 他、後援願 3 件、報告事項 6 件、本市における教育課題について
11 月 28 日 (月)	定 例	・「大和高田市いじめ防止基本方針」の改定について ・教育職員の給与等に関する特別措置条例の一部を改正する条例について 他、後援願 2 件、報告事項 1 件、本市における教育課題について
12 月 19 日 (月)	定 例	・「大和高田市いじめ防止基本方針」の改定について
1 月 23 日 (月)	定 例	・大和高田市立学校施設使用条例（案）について ・「大和高田市いじめ防止基本方針」の改定（案）について 他、後援願 3 件、報告事項 1 件、本市における教育課題について
2 月 27 日 (月)	定 例	・後援願 5 件、報告事項 4 件
3 月 9 日 (木)	臨 時	・教育職員人事について
3 月 24 日 (金)	定 例	・大和高田市児童生徒派遣費補助金交付要綱の一部を改正する告示（案）について ・大和高田市就学援助費事務取扱要綱の一部を改正する告示（案）について ・大和高田市部活動地域移行検討委員会設置要綱（案）

		について ・会計年度任用職員の給料及び基本報酬の額の決定に関する規則の一部を改正する規則（案）について ・大和高田市適応指導教室設置規則の一部を改正する規則（案）について ・大和高田市立高田商業高等学校入学者選抜における学力検査成績の開示に関する要綱の一部を改正する告示（案）について ・大和高田市指定文化財の新規指定について 他、後援願 3 件、報告事項 3 件
3 月 24 日 (金)	臨 時	・市職員人事について

(2) 教育委員会会議以外の活動状況

前年度に引き続き、令和 4 年度においても新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、行事等の中止や規模の縮小、出席者の制限が設けられた。学校訪問については、新型コロナウイルス感染症対策のため、参加人数を減らして短時間で実施した。関係行事への出席状況は次のとおりである。

○ 学校訪問

実 施 日	訪 問 校 ・ 園
6 月 2 1 日 (火)	高田商業高等学校
6 月 2 2 日 (水)	浮孔西幼稚園・浮孔西小学校
6 月 2 4 日 (金)	高田西中学校
6 月 2 7 日 (月)	土庫小学校
6 月 2 8 日 (火)	陵西幼稚園・陵西小学校・片塩中学校
6 月 3 0 日 (木)	菅原幼稚園・菅原小学校・高田中学校
7 月 4 日 (月)	浮孔幼稚園・浮孔小学校
7 月 5 日 (火)	磐園幼稚園・磐園小学校
7 月 6 日 (水)	片塩幼稚園・片塩小学校・高田小学校

○ 主な行事

開催日	行事名
5月15日(日)	高田洋画会表彰式
5月28日(土)	青少年補導会委嘱式・総会
8月1日(月)	パートナーシップ事業運営委員会
10月11日(火)	就学指導委員会
10月17日(月)	調べる学習コンクール審査会
11月3日(木)	選奨式
11月4日(金)	教育委員会表彰式、青少年健全育成研修会
11月13日(日)	市美術展覧会表彰式
11月16日(水)	奈良県市町村教育委員会研修大会
11月19日(土)	調べる学習コンクール表彰式
1月8日(日)	20歳を祝う会
1月14日(土)	大和高田スカウト運動育成協会新年祝賀会
2月6日(月)	パートナーシップ事業成果発表会

2 教育予算の執行に関する状況

令和4年度の教育費予算は、26億3,635万7千円で前年比2.6%の増であった。また、決算額は24億7,225万1千円で、前年比2.5%の増である。増加の主な原因は、小学校のエレベーター設置工事や電気・ガス料金高騰による光熱水費の増加に伴うものである。

教育予算全体での予算額に対する執行率は93.9%で、概ね予定どおりの予算執行であった。

(単位：千円)

	令和3年度		令和4年度		増減額	
	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
1 教育総務費	464,271	431,280	457,349	420,992	-6,922	-10,288
2 小学校費	383,386	357,085	447,616	415,621	64,230	58,536
3 中学校費	197,829	179,108	201,666	183,034	3,837	3,926
4 高等学校費	438,462	426,926	398,382	390,631	-40,080	-36,295
5 幼稚園費	305,675	282,712	350,883	314,474	45,208	31,762
6 社会教育費	273,107	256,645	266,121	253,976	-6,986	-2,669
7 保健体育費	507,803	479,344	514,340	493,523	6,537	14,179
合計	2,570,533	2,413,100	2,636,357	2,472,251	65,824	59,151

3 主要な事業の点検・評価

「大和高田市まちづくりの指針」第2章「将来都市像と基本目標」に掲げた教育関連施策に該当する事業（【別表1】参照）より、主要な26事業を対象とし、各担当課における1次評価、部局における2次評価を行い、自己評価の精度の向上を図るとともに、外部有識者による意見を活用し、報告書にまとめた。なお、評価及びその基準は、次のとおりである。

(1) 1次評価の概要

各担当課において、事務事業評価シートにより、事業の妥当性、有効性、効率性の3項目について、それぞれ4段階の項目別評価（評価が高い、評価がやや高い、普通、評価がやや低い）を行い、それを基に総合的な評価として1次評価を行った。1次評価の結果、期待以上の成果が上がったと評価された事業が2事業、概ね期待どおりの成果であったと評価された事業が23事業、期待

どおりの成果であるが、さらに改善の余地があると評価された事業が 1 事業、課題が残り、期待どおりの成果が上らなかったと評価された事業はなかった。

評価	基 準	事業数
A	期待以上の成果が上がった	2 事業
B	概ね期待どおりの成果であった	2 3 事業
C	期待どおりの成果であるが、さらに改善の余地がある	1 事業
D	課題が残り、期待どおりの成果が上らなかった	0 事業
合 計		2 6 事業

(2) 2次評価の概要

各担当課による 1 次評価の結果を基に、教育委員会内に 2 次評価組織を設置し、1 次評価の検証並びに 2 次評価を行い、修正すべき点については修正を加えた。2 次評価の結果、期待以上の成果が上がったと評価された事業はなく、概ね期待どおりの成果であったと評価された事業が 2 4 事業、期待どおりの成果であるが、さらに改善の余地があると評価された事業が 2 事業、課題が残り、期待どおりの成果が上らなかったと評価された事業はなかった。

評価	基 準	事業数
A	期待以上の成果が上がった	0 事業
B	概ね期待どおりの成果であった	2 4 事業
C	期待どおりの成果であるが、さらに改善の余地がある	2 事業
D	課題が残り、期待どおりの成果が上らなかった	0 事業
合 計		2 6 事業

(各事業の評価は、別表 2 参照)

4 有識者の意見

◎有識者の意見の聴取及び概要

教育に関し学識経験を有する者2名を教育委員会において選任し、2次評価後の各事業について、意見をいただいた。各評価に対する意見は次のとおりである。

① 学校給食業務について

- ◆毎年、各学校・園で行われていると思うが、給食における危機管理研修（アレルギー対応等）の徹底を教育総務課と各学校・園の栄養士や給食担当が中心になってより一層お願いしたい。また、市として給食費の無償化の議題は上がっているのか。
- ◆アレルギー以外でも、配慮が必要なさまざまなケースに応じて情報を共有し、市として対応をしているのか。

・有識者の意見を受けての担当課よりの回答（教育総務課）

新型コロナウイルス感染症の流行もあり、研修会という形式での実施はできていないが、各校の栄養士や調理員との会議の中で、アレルギー児の対応のことを話し合うことはある。新型コロナウイルス感染症が5類に移行したので、研修会の開催については今後検討していきたい。子どもの健康面に関することについては、学校ごとに選任している学校医に適宜相談し、助言を受けている。

給食費の無償化については、令和5年度の2学期及び3学期の市内公立小中学校の給食費の無償化を実施する。

② 人権教育の推進について

- ◆市の人権施策課と連携し、教育委員会として何を大切に考えているかを明確に教育現場に伝え、各学校・園で推進計画を策定させ、学校教育課で把握をしてほしい。

・有識者の意見を受けての担当課よりの回答（学校教育課）

各校園策定の推進計画を学校教育課に提出してもらい、人権教育の推進具合の把握に努めている。

③ 特別支援教育について

- ◆教育委員会は、特別支援教育において目指すことを明確にして、各学校・園でコーディネーター研修会を実施し、実践交流を行うことでレベルアップにつなげてほしい。
- ◆市内の3カ所目の通級教室の開設が達成に至らず、2カ所に生徒と先生が増加しているということなので、早急に開設を必要とする。

- ・有識者の意見を受けての担当課よりの回答（学校教育課）

各校園でコーディネーター研修会を実施するとともに、特別支援学校のセンター的機能を利用し助言指導を貰いながら、個別支援計画等の見直し、教材の見直しをする等、体制の整備に努めることにより、特別支援教育のレベルアップに繋げている。

来年度（令和6年度）からの通級教室開設に向け、高田中学校において準備を進めているところである。

④ 適応指導教室（かたらい教室）について

- ◆教育支援課と各小中学校の担任や担当者との連携をより密に児童生徒を中核に据えた取り組みをお願いしたい。

- ・有識者の意見を受けての担当課よりの回答（教育支援課）

教育支援課には、現在心理相談員4名がおり、各学校にはスクールカウンセラーが配置されている。各学校現場と調整しながら迅速な対応をしていくために出張相談を取り入れ、学校との連携をより密に図っていきたい。令和4年度にICT環境の整備を行ったので、タブレット端末を活用して児童生徒の学習状況に対応した個別学習を行うとともに、各学校での宿題や課題、授業でのプリントを共有して児童生徒の学習機会の確保、学校との連絡調整に努めていきたい。

⑤ 青少年補導員活動事業について

- ◆夜に巡視をしても子供がいない為、夕方や登下校の時間が望ましい。しかし、仕事などの関係で、その時間では人員の確保が出来ないのが課題である。市の意見を伺いたい。

- ・有識者の意見を受けての担当課よりの回答（教育支援課）

時間等について、学校の先生との調整を行っていきたい。また、日頃から「ながら見守り」をお願いしていき、スーパーに行った時などでも注意して見ていただき、何かあれば教育支援課や学校に連絡いただくことを徹底していききたい。

⑥ 就学援助および特別支援教育就学奨励事業

- ◆毎年事業費が増加しているが、受給児童は毎年減少している為、一人当たりの単価が増えているので見直しが必要である。

- ・有識者の意見を受けての担当課よりの回答（学校教育課）

令和2年度においては修学旅行中止により事業費が少なくなっており、令和5年度においては新たな支給項目としてオンライン通信費が加わったため、令和2年度から令和5年度にかけて事業費が増え、1人当たりの単価が増え

ているものとする。

⑦ 教育行政全般について

- ◆今ある公共施設等の利用や活用をうまく進めてほしい。
- ◆事業を多くしているが、Aの評価が少ないことから、期待以上の成果が上がったということが少なかったのではないか。

⑧ その他

- ◆市PTAにおいて生涯学習課と学校教育課の役割分担は明確化しているのか。

- ・有識者の意見を受けての担当課よりの回答（生涯学習課・学校教育課）

市PTAに関連する事務については、子ども夢街道等のイベントと一緒に
行う生涯学習課、通学路の安全対策等の要望については学校教育課が所管と
なっている。

5 総括

大和高田市教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うとともに、教育委員会が選任した2名の有識者にお話し、ご意見・感想をうかがった。

令和4年度は前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大が継続していたが、一部事業について、やり方を工夫した上で執行した事業があった。

有識者よりいただいたご意見を基に、教育の現状を把握するための工夫や、課題について検討し、厳しい財政状況ではあるが、限られた予算の中でより効率的・効果的な教育行政の推進に役立てたい。

6 【別表1】

大和高田市まちづくりの指針の体系

※教育委員会の事業は、主に①～③に該当する。

基本目標	基本施策	重点施策
① 認め合い、高め合う人が輝くまちづくり	人権を尊重する社会の実現及び平和を願う市民意識の醸成	
	生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備	
	国際交流の推進及び国際化社会への対応	
② 子どもたちの笑顔あふれるまちづくり	教育環境の充実	若者世代・子育て世代が住みよいまちづくり
	子育て支援体制の充実	
③ 健康でいきいきと暮らせるまちづくり	医療体制の整備・健康づくり事業の推進	医療・保健・福祉の充実
	地域福祉の推進	
④ 活気あふれるにぎわいのまちづくり	地域産業の振興	産業の活性化
	農業の振興	
	観光の振興	
⑤ 安心して暮らせる快適なまちづくり	持続可能なまちづくりの推進	災害に強いまちづくり
	都市基盤の整備	
	生活環境の整備と充実	
	安全で災害に強いまちづくりの推進	
⑥ 自立と協働のまちづくり	財政基盤の確立	
	効率的な行政運営の推進	
	市民参画による協働のまちづくりの推進	

7【別表2】

事業の評価一覧

番号	事業名	基本施策	評価	担当課
1	人権教育の推進	人権を尊重する社会の実現及び平和を願う市民意識の醸成	B	学校教育課
2	教育委員会表彰事業	生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備	B	教育総務課
3	社会教育関係団体育成事業	生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備	B	生涯学習課
4	葛城コミュニティセンター管理運営事業	生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備	B	生涯学習課
5	中央公民館定期講座運営事業	生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備	B	生涯学習課
6	中央公民館管理運営事業	生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備	B	生涯学習課
7	文化財保護事業	生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備	B	生涯学習課
8	幼稚園備品整備事業	教育環境の充実	B	教育総務課
9	幼稚園施設整備事業	教育環境の充実	B	教育総務課
10	小・中学校備品整備事業	教育環境の充実	B	教育総務課
11	小・中学校施設整備事業	教育環境の充実	B	教育総務課
12	教育ICT環境整備事業	教育環境の充実	B	教育総務課
13	学校給食業務	教育環境の充実	B	教育総務課

番号	事業名	基本施策	評価	担当課
14	特別支援教育	教育環境の充実	C	学校教育課
15	外国人講師派遣事業	教育環境の充実	B	学校教育課
16	幼児教育の充実	教育環境の充実	B	学校教育課
17	資格取得の推進	教育環境の充実	B	学校教育課 (商業高校)
18	部活動の推進	教育環境の充実	B	学校教育課 (商業高校)
19	適応指導教室(かたらい教室)	教育環境の充実	B	教育支援課
20	青少年補導員活動事業	教育環境の充実	B	教育支援課
21	青少年指導員活動事業	教育環境の充実	B	教育支援課
22	教育の日・大和高田市青少年健全育成研修会	教育環境の充実	B	教育支援課
23	青少年健全育成支援教室(旧家族ふれあい教室)	教育環境の充実	B	教育支援課
24	図書館運営事業	教育環境の充実	B	生涯学習課
25	就学援助および特別支援教育 就学奨励事業	子育て支援体制の充実	C	学校教育課
26	若者の居場所づくり事業	地域福祉の推進	B	教育支援課

事業の概要と点検・評価

基本目標	認め合い、高め合う 人が輝くまちづくり
------	---------------------

基本施策	人権を尊重する社会の実現及び平和を願う市民意識の醸成
------	----------------------------

人権が尊重される明るく豊かな地域社会を実現するため、一人ひとりが人権を尊重する意識を持ち、自分の人権だけでなく、他人の人権も思いやるまちづくりを進めます。また、人々が笑顔であるためには、何よりも平和な社会が必要です。1985年(昭和60年)に採択した「非核・平和都市宣言」の精神に基づき、平和を願う市民意識の醸成に努めます。

事業名	人権教育の推進	担当課	学校教育課
事業の概要	人権教育の充実を図り、人権尊重の理念を育み、生命と個人の尊厳を重んじる精神の育成に努めるもので、大和高田市人権教育研究会が実施する事業を補助し、各種研修会の開催並びに各校での人権教育講演会等を実施している。		
実績等	令和3年度事業費 33,193 千円 令和4年度 " 33,621 千円 令和4年度大和高田市人権教育研究会活動状況 総会(書面報告) 夏期課題別研修会(3回開催。3年ぶりの対面形式) 研究集会(3年ぶりの対面形式)、推進委員会(毎月1回開催) 研究委員会(4回)、事務局会議(毎月2回) 人権作文集の発行等		
点検・評価	感染症対策のため、オンラインや動画配信による実施をしていたが、3年ぶりに対面形式で行うことが出来た。また、各校からの取組も報告されており、事業の目的は概ね達成されている。人権教育研究会の研究大会では、あらゆる視点からの熱心な取組が報告されており、人権教育の深化が図られているが、現在も細やかな対応を必要とする人権課題が惹起しており、今後も事業の継続、充実が必要である。		

基本施策

生涯学習機会の充実・文化活動の推進・スポーツ環境の整備

市民が心豊かで生きがいを持って、よりよい人生を過ごせるように、生涯にわたって自らの人生デザインがふくらむ生涯学習機会の充実を図ります。

また、地域に伝わる伝統行事や歴史財産を守り、継承するとともに、人々に感動・誇りや生きる喜びをもたらす活動を推進し、郷土愛にあふれる未来へのまちづくり・人づくりに取り組みます。さらに、市民が健康でいきいきと暮らせるよう、生涯スポーツの啓発、環境の整備に取り組みます。

事業名	教育委員会表彰事業	担当課	教育総務課
事業の概要	大和高田市教育委員会表彰規程に基づき、大和高田市の教育・文化・芸術・スポーツの各分野において、 ・有益な研究、考案又は発明をし、教育に貢献したもの ・学校教育、社会教育又は社会体育の振興について、功績が顕著なもの ・市内の学校の児童、生徒で特に表彰することが適当と認められるもの に対して、奈良県教育週間の事業の一環として、毎年11月にさざんかホールのレストランホールにおいて、賞状を授与し、その功績を顕彰する。		
実績等	令和3年度事業費 83千円 令和4年度 " 95千円	被表彰者数 7名 " 7名・1団体	
点検・評価	教育・文化・芸術・スポーツの各分野において、顕著な功績を残した個人・団体や他の者の模範となる者の永年の功績や経験を顕彰することにより、今後のさらなる活動の活性化を促し、本市学校教育、社会教育、社会体育の振興に貢献する事業であり、概ね期待どおりの成果であった。		

事業名	社会教育関係団体育成事業	担当課	生涯学習課
事業の概要	婦人会、PTA等の社会教育団体の活動を通し、会員相互間の親睦を深め、地域の文化、教育の向上と地域における活動のリーダーとなる人材の育成を図る。 社会教育団体 地域婦人会連絡協議会 各校区婦人会より構成され、会の発展とともに、女性の教養と地位向上を図る。 PTA協議会 市内公立学校・幼稚園・こども園の各PTAにより構成され、PTA相互の連携を密にし、PTA活動の発展と学校教育の振興に努める。 美術協会 日本画、洋画、書芸、写真、陶芸、彫塑の6部門で構成、本市美術活動の推進に努める。		

実績等	令和3年度補助金 473千円 会員総数 422人 令和4年度補助金 703千円 " 409人 令和4年度の主な事業 地域婦人会連絡協議会・・・月1回の会議、総会（書面開催） PTA協議会・・・・・・月1回の会議、総会（書面開催）、 研究大会 「子ども夢街道」動画作成 等 美術協会・・・・・・各部門別の展覧会及び美術協会展の開催、 市美術展覧会開催
	点検・評価

事業名	葛城コミュニティセンター管理運営事業	担当課	生涯学習課												
事業の概要	地域住民の文化の向上と福祉の増進を図るため、住民相互の連帯感を育成し、ふれあい豊かな場として活用するため、適正な施設の維持管理に努める。														
実績等	令和3年度事業費 11,670千円 令和4年度 " 11,449千円 令和4年度の主な実績 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>開館日数</td> <td>289日</td> <td>(289日)</td> </tr> <tr> <td>教室延べ実施回数</td> <td>186回</td> <td>(169回)</td> </tr> <tr> <td>延べ受講者数</td> <td>1,566人</td> <td>(1,451人)</td> </tr> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>12,206人</td> <td>(10,625人)</td> </tr> </table> ()は令和3年度 令和4年度開催の教室・講座 (実施回数、延べ受講者数) 小倉百人一首かるた 12回 83人 実用書道 24回 312人 ジュニア将棋 12回 66人 おりがみ教室 12回 210人 楽しいクラフト教室 11回 24人 おとなのピア教室 39回 98人 デュ・アメリカンフラワー 12回 58人 パソコン教室 24回 206人 ハンドメイド ZAKKA 12回 82人 等			開館日数	289日	(289日)	教室延べ実施回数	186回	(169回)	延べ受講者数	1,566人	(1,451人)	延べ利用者数	12,206人	(10,625人)
開館日数	289日	(289日)													
教室延べ実施回数	186回	(169回)													
延べ受講者数	1,566人	(1,451人)													
延べ利用者数	12,206人	(10,625人)													

点検・評価	<p>新型コロナウイルスの影響はあるが、感染症対策を講じた上で貸館や講座を行っており、本市南部の文化、生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている。昨年度に比べ、受講者数は増加しており、講座内容については利用者の満足を得ている。今後も市民の学習意欲を高め支えられるよう、内容を一層充実させていかなければならない。</p>
-------	--

事業名	中央公民館定期講座運営事業	担当課	生涯学習課																																				
事業の概要	<p>大和高田市の生涯学習の拠点として、市民の趣味や教養を高める講座を開講し、市民一人一人が生きがいのある人生を実現できるよう、1年間を通して講座活動を支援し、その成果を発表する機会として、例年は成果発表会を開催している。</p>																																						
実績等	<p>令和3年度事業費 5,115千円 令和4年度 〃 8,033千円 令和4年度の主な実績 開館日数 289日 受講者数 6,621人 (令和3年度 開館日数 288日 受講者数 6,330人) 令和4年度定期講座(年間開催回数、延べ受講者数)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">陶芸教室</td> <td style="width: 10%;">20回</td> <td style="width: 10%;">200人</td> <td style="width: 25%;">書道教室</td> <td style="width: 10%;">20回</td> <td style="width: 10%;">240人</td> </tr> <tr> <td>写真教室</td> <td>20回</td> <td>220人</td> <td>華道教室</td> <td>19回</td> <td>120人</td> </tr> <tr> <td>創作教室</td> <td>20回</td> <td>100人</td> <td>着付教室</td> <td>20回</td> <td>260人</td> </tr> <tr> <td>若葉コーラス教室</td> <td>40回</td> <td>760人</td> <td>コーラスひまわり</td> <td>40回</td> <td>3,120人</td> </tr> <tr> <td>中央高齢者学級</td> <td>10回</td> <td>110人</td> <td>中央女性学級</td> <td>10回</td> <td>110人</td> </tr> <tr> <td>高田視聴覚講座</td> <td>10回</td> <td>220人</td> <td>等</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>令和4年度自主講座(47サークルが活動) 日本画、洋画、書道、陶芸、写真、創作、英会話、舞踊、大正琴、太極拳等の自主サークル 令和4年度成果発表会 参加団体総数 25団体 成果発表 9団体 コーラス、大正琴、詩吟、民謡、社交ダンス 作品展示 18団体 288作品</p>			陶芸教室	20回	200人	書道教室	20回	240人	写真教室	20回	220人	華道教室	19回	120人	創作教室	20回	100人	着付教室	20回	260人	若葉コーラス教室	40回	760人	コーラスひまわり	40回	3,120人	中央高齢者学級	10回	110人	中央女性学級	10回	110人	高田視聴覚講座	10回	220人	等		
陶芸教室	20回	200人	書道教室	20回	240人																																		
写真教室	20回	220人	華道教室	19回	120人																																		
創作教室	20回	100人	着付教室	20回	260人																																		
若葉コーラス教室	40回	760人	コーラスひまわり	40回	3,120人																																		
中央高齢者学級	10回	110人	中央女性学級	10回	110人																																		
高田視聴覚講座	10回	220人	等																																				
点検・評価	<p>新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で定期講座を開催した。コロナ禍においても市民のニーズは高く、生涯学習意欲の高さがうかがえる。生涯学習と地域コミュニティの拠点として、積極的な学習機会の提供に努め、概ね期待どおりの成果であった。公民館主催の定期講座を終えたOBによる自主サークル活動も活発であり、市民の学習意欲の高さが感じられる。高齢者の生きがいづくり、生涯教育の推進という観点から、今後も充実した学習機会を提供していかなければならない。</p>																																						

事業名	中央公民館管理運営事業	担当課	生涯学習課															
事業の概要	<p>本市の生涯学習の拠点として、各種定期講座や自主講座、その他の諸行事を円滑に開催することが出来るよう、定期点検や修理修繕等施設の適正な維持管理に努め、生涯学習の推進を図る。</p> <p>(施設の概要)</p> <p>1F/ 事務室・生涯学習課事務室・視聴覚室・美術陶芸室・調理実習室 2F/ 第1・2講座室・第3講座室・第4講座室・和室①・和室②・創作室 3F/ 大ホール・控室</p>																	
実績等	<p>令和3年度事業費 15,863千円 開館日数 288日 利用者数 35,217人 令和4年度 " 13,744千円 " 289日 " 40,323人</p> <p>令和4年度施設の主な利用状況</p> <table border="1" data-bbox="446 1052 1149 1276"> <tr> <td>教育委員会関係</td> <td>117件</td> <td>2,199人</td> </tr> <tr> <td>教育委員会以外の行政</td> <td>68件</td> <td>1,750人</td> </tr> <tr> <td>地域運営組織等</td> <td>63件</td> <td>1,049人</td> </tr> <tr> <td>定期講座等</td> <td>350件</td> <td>6,621人</td> </tr> <tr> <td>自主講座</td> <td>2,276件</td> <td>28,704人</td> </tr> </table>			教育委員会関係	117件	2,199人	教育委員会以外の行政	68件	1,750人	地域運営組織等	63件	1,049人	定期講座等	350件	6,621人	自主講座	2,276件	28,704人
教育委員会関係	117件	2,199人																
教育委員会以外の行政	68件	1,750人																
地域運営組織等	63件	1,049人																
定期講座等	350件	6,621人																
自主講座	2,276件	28,704人																
点検・評価	<p>新型コロナウイルス感染防止に留意し、各部屋に空気清浄機を設置した。利用者の活動が広がり、従来の公民館の姿を取り戻しつつあるが、高齢化する利用者の利便性や安全を確保するため、適切な施設整備の必要がある。各定期講座・教室、自主サークルやその他の諸行事の開催に有効に利用されており、本市生涯学習の拠点として重要な役割を果たしている。</p>																	

事業名	文化財保護事業	担当課	生涯学習課
事業の概要	埋蔵文化財包蔵地の範囲を周知し、埋蔵文化財包蔵地における開発行為に対して、現場立会いのうえ、試掘調査の可否について判断している。その結果、重要な遺物・遺構の出土が見られた場合は本調査を行い、記録の作成、出土品の整理等の適正な処理を施し、埋蔵文化財の保存に努め、埋蔵文化財の破壊・散逸を未然に防止する。		
実績等	令和3年度事業費 3,912千円 令和4年度 〃 4,060千円 令和3年度 発掘届出件数 33件 令和4年度 〃 36件		
点検・評価	令和4年度は、自己用住宅の建築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査（万歳平城跡）を実施した。調査で得られた成果や出土品は、保管するだけでなく、市内外への周知及び公開に努め、市民の歴史への理解と文化財保護意識の高揚に向けて情報発信に努めたい。PRキャラクター「ゆぎ丸」の作成により、文化財保護と地域活性化を幅広い世代へアピールしていく。		

基本目標	子どもたちの笑顔あふれるまちづくり
------	-------------------

基本施策	教育環境の充実
------	---------

未来を担う子どもたちが健やかに成長していくことができるよう、確かな学力、豊かな人間性やたくましい心身の育成など、知・徳・体のバランスのとれた教育の実現に取り組みます。

事業名	幼稚園備品整備事業	担当課	教育総務課
事業の概要	園児の健全な成長を促し、教育の質の向上を図るため、備品の整備を進める。備品購入費の予算を確保し、各園の状況を考慮しつつ、優先順位の高いものから対応する。		

実績等	令和3年度事業費 1,020 千円 令和4年度 〃 1,445 千円 令和4年度主な整備備品 (園用備品) デジタルカメラ、大型扇風機、シュレッダー 他
点検・評価	限られた予算の中、各園において精査し、有効な備品の整備に努めている。各園の状況に合わせた教育用物品の他、新型コロナウイルス感染症対策の物品を購入し、概ね期待どおりの成果となった。全体的に機器等の老朽化が見られ、今後は各園の状況に合わせて段階的に改善する必要がある。

事業名	幼稚園施設整備事業	担当課	教育総務課
事業の概要	園児の安全で健やかな成長を促進するため、園施設・設備の維持管理に努めるとともに、営繕担当の会計年度任用職員を配置し、自前修理の可能な修理・修繕にも迅速に対応する。		
実績等	令和3年度事業費 4,736 千円 令和4年度 〃 12,787 千円 令和4年度の主な整備 片塩幼稚園 開放廊下床改修工事、職員室空調機器更新工事 浮孔幼稚園 結露対策開放廊下屋根塗装工事		
点検・評価	計画的に施設整備を行うことができた。施設および設備の保全については、2名の営繕担当職員により可能な限り修理等を行い、コストの軽減に努めている。限られた予算の中で修繕を執行し、概ね期待どおりの成果であった。		

事業名	小・中学校備品整備事業	担当課	教育総務課
事業の概要	子どもたちが意欲を持ち、積極的に学習に取り組み、学力の向上と健全な育成を促すことができるよう、備品等の整備を進める。校用備品、教材用備品、理科教育設備用備品、特別支援教育用備品の各々について、学校からの要望を聴取、教育総務課で予算化、一括入札を実施、購入を行い、教育環境の整備に努める。		

実績等	<p>令和3年度事業費 17,541千円 児童・生徒数 3,743人 令和4年度 〃 14,904千円 〃 3,634人</p> <p>令和4年度の主な整備備品</p> <p>(校用備品) 小学校：掃除機、CDプレーヤー、椅子 等 中学校：椅子、机、クリーンロッカー 等</p> <p>(教材用備品) 小学校：ミシン、とび箱、シロフォン 等 中学校：指揮台、背付ピアノ椅子、電子ホッチキス 等</p> <p>(理科教育設備用備品) 小学校：おんさ、電子てんびん、振り子 等 中学校：電磁力実験器、鉄製スタンド 等</p> <p>(特別支援学級用備品) 小学校：ジャンボサイコロ、ホワイトボード、ラミネーター 等 中学校：ガスコンロ、シュレッダー 等</p> <p>(感染症対策用備品) 小学校：メッシュ式担架、書画カメラ 等 中学校：ポータブルスピーカー、掃除機 等</p>
点検・評価	<p>小中学校からの要望・必要性を精査し、有効な備品の整備に努め、効率的な執行をしている。感染症対策備品については補助金等を活用して購入し、概ね期待どおりの成果であった。今後も計画的に進めるとともに、管理状況等を把握し、適正管理に努める必要がある。</p>

事業名	小・中学校施設整備事業	担当課	教育総務課
事業の概要	<p>児童・生徒の安全で健やかな成長を促進するため、学校施設・設備の維持管理に努める。また、営繕担当の会計年度任用職員を配置し、自前修理の可能な修理修繕に迅速に対応する。</p>		
実績等	<p>令和3年度事業費 162,695千円 令和4年度 〃 237,942千円</p> <p>令和4年度の主な整備</p> <p>磐園小学校プールサイド改修工事、陵西小学校北門改修工事、 片塩・浮孔・磐園・陵西小学校可動式黒板改修工事、 土庫小学校エレベーター設置工事、浮孔小学校屋外時計更新工事、 高田小学校体育館北側陸屋根防水工事、 高田西中学校サイクルポート新設工事 他</p>		

点検・評価	令和4年度は大規模な工事として、土庫小学校エレベーター設置工事をしたが、その中で他の工事でも効率よく行うことができ、概ね期待どおりの成果であった。幼稚園と同様、施設の軽微な不具合については、可能な限り専属の営繕担当職員による修繕を行っている。今後、学校の統廃合の可能性を踏まえて、インフラ関係を中心に修繕計画を立てていく必要がある。
-------	--

事業名	教育ICT環境整備事業	担当課	教育総務課
事業の概要	確かな学力をより効果的に育成するため、言語活動の充実やグループ学習、文科省の掲げるGIGAスクール構想を含むICT（情報通信技術）の積極的な活用の基礎となる環境の整備を行う。		
実績等	令和3年度事業費 95,198千円 令和4年度 〃 92,617千円 令和4年度の主な整備 GIGAスクール構想に係る環境整備 ICT支援員増員、教職員用Chromebook追加購入100台、 奈良県域GIGAスクール運営支援センター事業への参加、 幼稚園教職員用端末購入 等		
点検・評価	GIGAスクール構想で令和2年度までに整備した児童・生徒用端末をさらに活用できるよう、教員用端末の配備やサポート体制を充実させることで、新型コロナウイルス感染症対策としてのオンライン学習だけではなく、家庭学習での活用の一助となり、概ね期待どおりの成果であった。		

事業名	学校給食業務	担当課	教育総務課
事業の概要	栄養バランスの取れたおいしい給食を提供することにより、栄養健康管理を推進し、食に関する生きた教材として、食事のあり方等について学ぶことを目的に、幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒に給食を提供する。		
実績等	令和3年度事業費 237,442千円 年間給食総食数 706,705食 令和4年度 〃 241,604千円 〃 684,297食 月～金曜日 週5回の給食を提供 幼稚園（6園）・小学校（8校）・中学校（3校）で学校給食を実施 主食（月・火・水・金曜日は米飯、木曜日はパン）と副食、牛乳の完全給食を提供		

点検・評価	食育を通して栄養バランスや正しい食の知識を身につけ、食べる事への興味・関心を持ってもらえるよう献立や食材に工夫をし、食育の推進を図った。安心して給食が食べられるよう、感染症予防対策を行いながら給食の提供をすることができ、概ね期待どおりの成果であった。
-------	---

事業名	特別支援教育	担当課	学校教育課
事業の概要	就学指導委員会において、特別に支援を要する幼児・児童・生徒の教育相談を実施し、適正な就学を確保する。学校では、特別支援学級において子どもたちの個々のニーズに合った教育を実施している。幼稚園に加配講師、小・中学校に教育活動補助員の人員配置をし、支援の充実を図る。		
実績等	令和3年度事業費 46,192千円 令和4年度 " 53,957千円 令和4年度実施の主な事業 特別支援教育担当者対象の研修会開催 特別支援校内委員会において、特別支援コーディネーターを中心に校内での職員研修会実施 等		
点検・評価	就学指導委員会において教育相談を実施することにより、適正な就学を確保することが出来ている。また、学校の特別支援学級においても、適切な指導や支援を行っている。しかし、近年「障がい」の重複化及び重度化等による医療ケアを要する子どもの増加、幼児・児童・生徒・保護者の多様な教育的ニーズへの対応、対象幼児・児童・生徒の増加に伴い、本市の目指す特別支援教育を明確にし、より効果の上がる指導体制の充実を図る必要がある。現在、令和6年度からの当市内で3カ所目となる通級教室開設に向けて準備を進めているところである。		

事業名	外国人講師派遣事業	担当課	学校教育課
事業の概要	外国人講師による生きた外国語（英語）や外国の文化・生活習慣等に触れる機会を設けることで園児・児童・生徒の外国への興味を深め、コミュニケーション能力の向上を図る。市内各幼稚園・小学校・中学校・高等学校に外国人講師を派遣している。		

実績等	令和3年度事業費 20,097千円 令和4年度 " 20,070千円 令和4年度の実績（小・中学校については、児童・生徒数による） 幼稚園1園当たり9日 小学校1校当たり28～63日程度 中学校1校当たり63～98日程度 高等学校115日
点検・評価	プロポーザル方式による業者選定を導入することにより、安定して信頼出来る外国人講師を派遣することが出来ている。事業開始当初に比べ、派遣講師を増員しており、概ね期待どおりの成果を上げている。国際社会を生き抜く子どもたちの将来のため、更なる充実に努めたい。

事業名	幼児教育の充実	担当課	学校教育課
事業の概要	いろいろな体験や遊びを通じ、健康な体力づくりの基礎を培い、情緒的・知的な発達や社会性を育み、心豊かにたくましい子どもを育成する。また、様々な事業を通じ、保護者の子育て支援の充実を図る。		
実績等	令和4年度事業費 18,591千円 令和4年度事業 わくわく子育て事業 小・中学校、保育所との交流事業 ※感染症拡大予防のため一部中止		
点検・評価	市民のニーズが高い預かり保育を実施したことにより、園児数の減少を緩やかにしている。事業は、概ね期待どおりの成果であったが、長時間保育を希望し、こども園や保育所に入園希望する保護者の増加が見られる。そのため、長期休暇中の預かり保育を拡充する等、保育内容を充実させ、園児数の増加に繋げる事業を展開している。		

事業名	資格取得の推進	担当課	学校教育課 (商業高校)
事業の概要	<p>将来を担う有為な人材の育成に努め、各々の分野における生徒の能力、適正、意欲を伸ばす等、教育の多様化にも柔軟に対応し、実社会に向け確かな勤労観、職業観を持った即戦力となる人材を育成する。また、大学入試等進学にも有利になるよう、日商簿記検定、全商簿記実務検定、全商情報処理検定、全商商業経済検定、全商ビジネス文書実務検定、全商珠算・電卓検定、全商英語検定等の資格検定について、1級合格者数のアップ等、資格取得の合格率を上げるよう努める。</p>		
実績等	<p>令和3年度 生徒数 597名 各種検定1級延べ合格者 864名 令和4年度 " 593名 " 785名</p> <p>令和4年度各種資格取得の状況</p> <p>日商簿記検定：2級合格者 20名(33) 全商簿記実務検定：1級合格者 171名(189) 全商情報処理検定：1級合格者 166名(186) 全商商業経済検定：1級合格者 182名(193) 全商ビジネス文書実務検定(ワープロ検定)：1級合格者 43名(43) 全商珠算・電卓検定：1級合格者 202名(217) 全商英語検定：1級合格者 21名(36) 全商検定3科目以上合格者 179名(194) 他</p> <p>令和4年度進路の状況</p> <p>4年生大学 65%(64) 短期大学 5%(4) 専門学校 11%(15) 就職 18%(17) ()は令和3年度</p>		
点検・評価	<p>生徒たちの努力と学校の取り組みにより、概ね期待どおりの成果を挙げることができた。時代の流れに合わせ、グローバル社会に対応できる人材育成に向け、英語教育の充実と、英語検定の取得率向上にも努める。</p>		

事業名	部活動の推進	担当課	学校教育課 (商業高校)
事業の概要	<p>生徒には、必ずいずれかの部に所属するように指導をしており、部活動を通じ、身体的、精神的に強い意志を持ち、規則正しく、礼儀正しい人間を育成することを目的とし、運動部、文化部の活動を支援し、指導の強化に努める。</p> <p>運動部・・・野球、ソフトテニス、サッカー、卓球、バスケットボール、弓道、バレーボール、ソフトボール、陸上、バドミントン</p> <p>文化部・・・吹奏楽、簿記、ワープロ、書道、茶道、華道、情報処理、美術、英語、珠算、家庭、アカペラ、ボランティア</p>		
実績等	<p>令和3年度生徒数 597名</p> <p>令和4年度生徒数 593名</p> <p>令和4年度各競技の主な成績</p> <p>ソフトテニス部・・・JOCジュニアオリンピックカップ大会 U20 シングルス 優勝 U17 ダブルス 優勝 等</p> <p>バドミントン部・・・奈良県中南部大会 男子・女子ダブルス 優勝 男子シングルス 優勝 等</p> <p>弓道部・・・奈良県高校弓道選手権大会 遠的の部 優勝</p> <p>珠算電卓部・・・高校簿記・電卓対抗戦 関西中央本大会 電卓の部 団体 優勝 等</p> <p>ワープロ部・・・近畿地区高校ワープロ競技大会 団体 準優勝 個人 優勝 等</p> <p>書道部・・・全国たなばた書道展 特選・金賞・銀賞 等</p>		
点検・評価	<p>運動部、文化部ともに毎年全国規模の大会に出場できるレベルであり、多くの部活動でハイレベルの活躍が見られ、概ね期待どおりの成果であった。令和3年度と同様、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、感染症対策等の制限があったが、ソフトテニス部ほか各部において活発に活動し、好成績を残している。部活動を通じた身体的、精神的に強い人間形成の成果が進学、就職にも有効に表れ、卒業後の可能性を広げることに繋がっており、今後も更なる活躍を期待する。また、自らを向上させようとする地道な努力を評価する体制づくりにも力を入れるとともに、成長するための基礎づくりとしての部活動の役割を再認識したい。</p>		

事業名	適応指導教室（かたらい教室）	担当課	教育支援課
事業の概要	<p>心理的、情緒的な要因により不登校となった児童・生徒に対し、学校への復帰を支援するため、平成6年に開設。当初は不登校児童等への心理的支援を主な事業としていたが、平成15年度より学習支援を目的とする事業が新たに加わった。心理相談員や指導員を配置し、生徒達の実態を把握、集団生活への適応指導、適応指導に関する調査研究を通し、学校復帰及び心理的問題の解決を図るとともに、学校へ臨床心理士、指導員を派遣している。また、いじめ等への教育アドバイザーによる電話相談等の教育支援を行っている。</p>		
実績等	<p>令和3年度事業費 23,495千円 令和4年度 〃 22,056千円 令和4年度適応指導教室開所日数 243日(242日) 〃 在籍者数 112名(150名) ()は令和3年度</p>		
点検・評価	<p>不登校児童・生徒への心理的な支援だけでなく、教育的な支援も効果を発揮し、概ね期待どおりの成果であった。令和2年度に大和高田市適応指導教室設置規則を施行し、その中で適応指導教室職員の職務分担を明確化し、対象者の定義や手続きを定めたことにより、事業を円滑に運用することができている。子どもを取り巻く問題に対して、よりきめ細やかに、また早期に対応するためにも指導員の増員及び質の向上、内容の精査が必要である。</p>		

事業名	青少年補導員活動事業	担当課	教育支援課
事業の概要	<p>青少年の問題行動を未然に防止するため、巡視活動を行うとともに、各種の事故防止活動の推進を図り、青少年の健全な育成、指導にあたる。</p>		
実績等	<p>令和3年度事業費 251千円 令和4年度 〃 180千円 令和4年度 行事・研修会回数 20回 延べ参加人数 517人 ※新型コロナウイルス感染症拡大により、人数制限等を行いながら巡視活動を実施。</p>		

点検・評価	新型コロナウイルス感染症拡大により、事業の縮小を余儀なくされたが、巡視活動は継続して行い、青少年の問題行動を未然に防止している。市内での少年犯罪の減少に貢献しており、概ね期待どおりの成果であった。
-------	--

事業名	青少年指導員活動事業	担当課	教育支援課
事業の概要	市内に在住の幼児・児童・生徒を対象とし、野外活動やハイキング、レクリエーション活動等の事業を実施し、文化や自然にふれあうことにより、次代を担う青少年の健全育成を推進する。また、研修会を開催し、指導員の資質の向上を図ることにより、事業の有効的な推進を図る。		
実績等	令和3年度事業費 226千円	延べ参加人数	300人
	令和4年度 〃 225千円	〃	145人
点検・評価	新型コロナウイルス感染症拡大により、事業の中止や縮小を余儀なくされたが、感染予防策を講じた上で実施可能な催しを行い、青少年指導員の能力維持のための会議や研修を継続して行った。今後の課題は、行事の参加者が将来、指導員として活躍できる仕組みを構築し、事業の継続性を担保することである。		

事業名	教育の日・大和高田市青少年健全育成研修会	担当課	教育支援課
事業の概要	教育に対する意識や関心を高めるとともに、家庭・地域社会及び学校がより一層連携を深め、教育の充実を図るため、研修会を開催し、今後の青少年育成の資質向上を図る手がかりとする。		
実績等	令和4年度事業の実績 教育の日・大和高田市青少年健全育成研修会 参加人数 49人 『ネットリテラシーについて考える～SNSと子どもの人権』		

点検・評価	令和3年度より、一般市民に参加を呼びかける形で開催した。コロナ禍の影響もあり、参加者は少なかったが、インターネット利用における子どもの犯罪被害等の防止は喫緊の課題でもあり、概ね好評であった。今後、幅広い層の受講者の参加を促すために、日程を含め準備が必要である。
-------	--

事業名	青少年健全育成支援教室 (旧家族ふれあい教室)	担当課	教育支援課
事業の概要	教育に対する意識や関心を高めるとともに、家庭・地域社会及び学校がより一層連携を深めるため、体験教室を開催し、今後の青少年育成の資質向上を図る。		
実績等	令和4年度事業の実績 令和4年度大和高田市子ども子育て支援教室「爪の悩み」 参加人数 14人		
点検・評価	本事業は令和元年度までは「家族ふれあい教室」として開催しており、令和2年度に「青少年健全育成支援教室」と改称して対象者の拡大を目指したが、コロナ禍により令和元年以来の開催となった。久しぶりの開催ということもあり参加者は少なかったが、概ね好評であったので、今後も市民のニーズを把握し、企画・立案することで、参加者の増加を目指す。		

事業名	図書館運営事業	担当課	生涯学習課
事業の概要	市民の誰もが利用できる「学びの場」として、「本との出会い、人との出会い」を大切にし、市民が「心の豊かさ、生きがい」を得、学習意欲を高められるよう情報の提供を行い、「暮らしの中にある、役立つ図書館」として有効に機能できるよう管理運営に努める。県内外他市町村公立図書館との相互貸出サービスやリクエストによる本の購入、本の予約制度、生後4ヶ月健診児へのブックスタートライブラリーの配布等の事業を積極的に展開する。また、インターネットによる蔵書の検索サービスを提供、ネット上で蔵書の有無、予約の状況等の照会が可能となっている。		

実績等	令和3年度事業費	52,914千円		
	令和4年度	51,072千円		
実績等	令和4年度	個人貸出者数	50,499人	(44,913人)
		個人貸出冊数	180,843冊	(179,038冊)
	()は令和3年度			
点検・評価	新型コロナウイルス感染症拡大による利用制限が緩和されたため、令和3年度より来館者数・貸出冊数が向上した。利用制限を設け、図書除菌機を設置する等、感染症対策をした上で貸出や催し物を実施し、概ね期待どおりの成果が得られている。			

基本施策	子育て支援体制の充実
------	------------

すべての子どもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長し、「子どもの最善の利益」が実現されるよう、多様化する価値観、ニーズに応じた子育て支援サービス（保育サービス、子育て家庭に対するサービスなど）を充実させ、安心して子育てができる環境づくりを推進します。

事業名	就学援助事業および特別支援教育就学奨励事業	担当課	学校教育課
事業の概要	経済的に困窮する世帯の子ども等すべての子どもに等しく学校教育が受けられるよう支援を行う。また、特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力に応じて就学に必要な経費を負担する。		
実績等	令和3年度事業費 43,690千円	援助児童・生徒数	678人
	令和4年度事業費 45,310千円	援助児童・生徒数	657人
点検・評価	令和4年度は、従来の対象世帯に加えて、新型コロナウイルス感染症の影響による家計の急変で非課税相当となった世帯に対しても支援を行うことができた。今後も引き続き状況に応じた細やかな対応を視野に入れ、対象世帯に対して適正な支給事務を進める。		

基本目標	健康でいきいきと暮らせるまちづくり
------	-------------------

基本施策	地域福祉の推進
------	---------

地域福祉推進の主体である地域住民などの参加を得て、地域生活課題を明らかにするとともに、その解決のために必要となる施策の内容などについて、庁内関係部局はもとより、多様な関係機関や、専門職も含めて協議の上、すでにある他の計画を踏まえた「大和高田市地域福祉計画」を策定し、地域福祉の推進に向けた取組を進めます。

事業名	若者の居場所づくり事業	担当課	教育支援課
事業の概要	若者の地域社会への帰属意識及び自己肯定感の向上を図るため、若者の居場所を提供することにより、地域社会からの孤立の防止を目的とする。対象は、市内在住の40歳未満で、義務教育を終了した後、中途退学や早期離職等により社会的孤立のおそれがある者としており、社会福祉課の事務の補助執行という形で実施している。		
実績等	令和4年度事業費 614千円(535千円) ヒサかた・ヒサ会実施回数 53回(52回) 参加者数 271人(326人) ()内は令和3年度		
点検・評価	概ね期待通りの成果を上げている。感染症拡大により、事業の縮小は余儀なくされたが、継続性は維持できている。今後は、専門的知識を有する人材の確保及び市長部局や関係機関が一体となったプラットフォーム作りについて検討の余地がある。		